

令和元年度行政評価 施策評価シート (平成30年度実績)

施策名 いこいとやすらぎの空間形成

施策コード	060201
-------	--------

1. 施策の担当	
主管課	都市整備部 道路公園課
関係課	

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第6章 心地よく、くつろぎを感じるまちづくり (快適・憩い)	節 第2節 公園・緑地
	施策	いこいとやすらぎの空間形成	

基本方針
 ・ 公園の整備や緑化をはじめ、市民と行政の連携による緑の保全や創出を進め、市民が憩える環境づくりを推進します。

現況と課題
 ・ 公園は、自然との触れ合いの場や市民交流の場、災害時の避難場所など、多様な機能を有しています。
 ・ 本格的な少子高齢化社会のなかで、健康づくりの場としての活用など、公園のさらなる機能向上が求められています。今後は、計画段階からの市民参加や市民の自主的な維持管理活動を促しながら、地域に密着した愛着ある公園づくりを進めることが必要です。
 ・ 環境との共生や景観形成といった観点から、緑化に対する市民意識を高めながら、農地や民有地における緑の保全や、家庭や地域における緑化推進など、市民との協働による様々な緑化活動を展開していくことが重要です。

施策目標
対象 (誰を、何を、どこを)
 市民

意図 (どのような状態にしたいのか)
 健康で文化的な市民生活を支えるための公園緑地の整備を進めます。

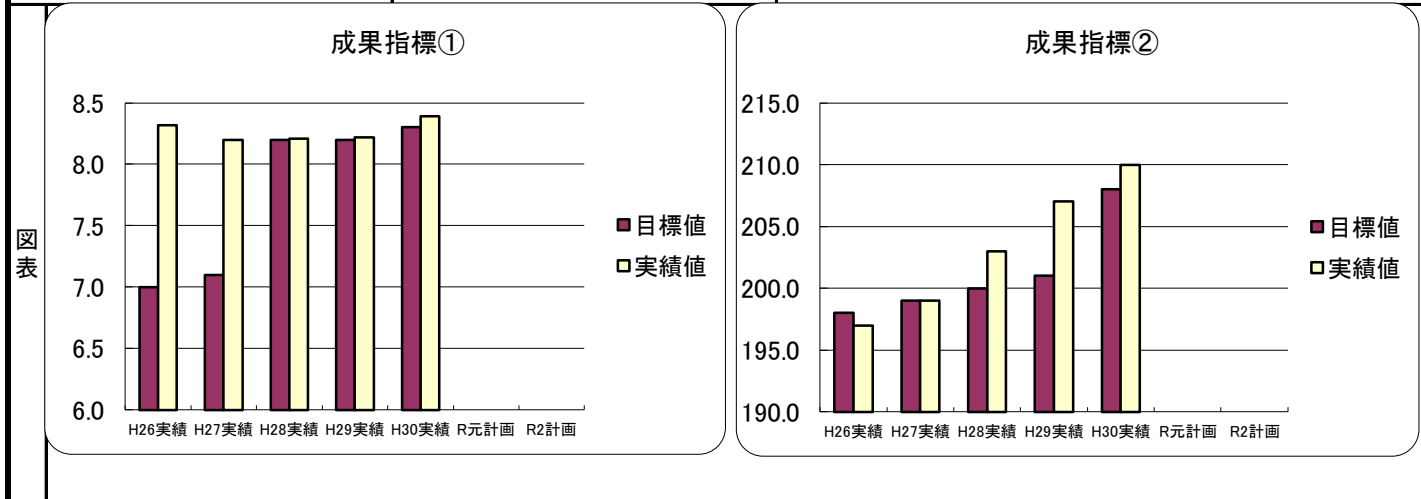
3. 市民ニーズ							
	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
満足度 (偏差値)	47.6						49.7
重要度 (偏差値)	46.5						41.9

4. 施策にかかるコスト								
コストの内訳	単位	H29決算	H30決算					
	千円	6,992	7,500					
	事業費	114,856	149,552					
財源内訳	フルコスト	121,848	157,052					
	国庫支出金	0	0					
	府支出金	0	0					
	市債	0	0					
	その他	18,357	44,255					
	一般財源1 (=フルコスト-特定財源)	103,491	112,797					
一般財源2 (=直接事業費-特定財源)	96,499	105,297						

5. 施策の成果指標							
① 成果指標 1		住民一人当たりの公園面積					
項目	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R元計画	R2計画
目標値	7.0	7.1	8.2	8.2	8.3		
実績値	8.32	8.2	8.21	8.22	8.39		
達成度	118.86	115.49	100.12	100.24	101.08		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠			目標達成・未達成の理由・背景		
この数値が増加すると、人にやさしい安全なまちづくりのための (防災性を考慮した) 公園が増加するとともに、市民の緑化意識の高揚や市民による自主的な公園管理の充実が図れる。		開設予定面積及び人口推移を考慮して予測すると、5年後は6.9㎡、10年後は8.1㎡となる。H29年度、H30年度実績を踏まえH31(R01)年度は8.4㎡を目標値とした。			都市公園1箇所、児童公園が2箇所増加したので、1人当たりの公園面積が増加した。		

② 成果指標 2		管理公園数					
項目	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R元計画	R2計画
目標値	198.0	199.0	200.0	201.0	208.0		
実績値	197.0	199.0	203.0	207.0	210.0		
達成度	99.49	100.0	101.5	102.99	100.96		

指標設定の根拠	目指そう値の設定根拠	目標達成・未達成の理由・背景
この数値が増加すると、人にやさしい安全なまちづくりのための防災性が向上するとともに、市民の緑化意識の高揚が図れる。	毎年度1箇所開設を目標値とした。	管理公園数は都市公園1箇所、児童公園2箇所増加した。



6. 施策の事後評価			
	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
一次評価 (担当課による評価)	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) 4	管理公園数は3公園増。一人当たり公園面積はりんくう中央公園(2.4ha)の一部減少があったが、泉佐野南部公園の開園(4.0ha)が大きく影響している。□
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) 2	市民アンケートでは、満足度が平成24年度47.6から平成30年度49.7と向上している。しかし、平成30年度も引き続き、除草・清掃など定期的・適切な公園の維持管理に対する要望が多い。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) 3	公園は、自然との触れ合いの場や市民交流の場として、また、災害時の避難場所など多様な機能を有しており、安全なまちづくりのための公園整備が望まれている。また、公園における遊具の安全確保は大きな社会問題となっている。
	合計点	(10点中) 9点	
	総合評価	A	公園の維持管理を中心とする現状の取り組みを維持する。
二次評価(政策推進課・行財政管理課による評価)		B	引き続き、公園・緑地の適切な維持管理に努めること。
三次評価(理事者による評価)		B	引き続き、公園・緑地の適切な維持管理に努めること。

7. 施策を構成する事務事業						
事務事業			H30年度決算額			一次評価
予算コード	事務事業名	人件費	事業費	一般財源		
1	01041400 公園施設管理事業	7,500	149,552	105,297		B
合計		7,500	149,552	105,297		